

よく分かる性感染症（６）：緊急避妊について

コンドームが破れたら 72 時間以内に緊急避妊

（中国新聞 10 面 健康・医療 H19 年 3 月 7 日水曜）

Q 性感染症予防にコンドームが有効というのは分かりました。でも外れたり、破れたりすることもあります。（20 歳、フリーターの女性）

A もし相手の男性がなんらかの性感染症にかかっていた場合、残念ながら、直後に検査をしても感染の有無は分かりません。エイズウイルス（HIV）は約 3 ヶ月、クラミジアは約 2 週間が経過しないと、検査にひっかかってきません。「コンドームが外れたり、破れたりしないよう、正しく使えばいい」という意見もありますが、正しく使えば大丈夫というわけでもなく、外れたり破れたりする本当の理由は、実は誰にもわからないのです。ちょっと話題が変わりますが、破れた場合は、感染だけでなく妊娠も心配しなくてははいけません。そんなときでも、最後の避妊手段があることをご存知でしょうか。緊急避妊という方法で、性交から 72 時間以内に、避妊に有効な女性ホルモン剤（緊急避妊ピル）を服用し、その 12 時間後に再び同量のピルを服用するものです。「即座にシャワーで洗ったら、どうですか」なんて言う人がいますが、残念ながらシャワーで洗い流せる場所は膣の外側に限られ、有効な方法とはなりえません。ただ、緊急避妊が信頼性の高い避妊法とはいえないことも知っておいてください。緊急避妊

ピルを服用した場合、1回の性交で妊娠する可能性が25%に低下するにすぎないからです。とはいえ、国際的には「知らないのは愚か、知らせないのは罪」と言われています。性感染症の話に戻ります。「緊急避妊が一般に広まると、コンドームを使わないカップルが増え、性感染症が拡大するのではないか」という意見もありますが、誤解です。コンドームを1年間正確に使用した場合の妊娠率がわずか2%なのに対し、セックスのたびに緊急避妊に頼っていたら、妊娠率は異常に高くなり、お金もかかって、いいことはありません。さほど抵抗なく避妊目的でコンドームを使えるわが国の場合、結果として性感染症予防に役立ってきたのは事実です。だからこそ、コンドームのトラブルに遭遇したときの対処法である緊急避妊について知らせておきたいのです。

（日本家族協会クリニック所長 北村邦夫）